管機連Daily News

2026年10月13日（火）

≪ 今日の主なニュース ≫

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆消費税国会、予算委論戦 審議通じ減税・給付の制度設計詰め

・国会は消費税減税と新たな給付制度を巡る衆院予算委員会の論戦に入る。政府・与党は野党側の主張も踏まえ、減税・給付の対象や規模、財源といった制度の詳細を詰める。参院は少数与党の状況で、合意点を見いだせるかが焦点となる。予算委は衆院が13、14両日、参院が16、19両日に開く予定。その後に減税・給付法案の委員会審議に移る見通し。

◆中小の事業承継、悪質なM&A仲介排除へ 強制調査など法整備検討

・経済産業省は後継者のいない中小企業の事業譲渡の増加を踏まえ、悪質なM&A（合併・買収）仲介事業者を排除する法整備を検討。資金力のない買い手につなぐといったトラブルの際に強制調査に入る案がある。後継者難で事業をやめる企業が増えれば、サプライチェーン（供給網）や雇用の維持に支障が出かねない。

◆公立病院、25年度は8割が赤字 材料費や人件費重く

・赤字の公立病院が増加傾向に。総務省によると、全国841の公立病院の2025年度決算は81.2%が経常赤字。5年前の42.8%からほぼ倍増。新型コロナウイルス禍では補助金の下支えにより、赤字病院の割合は21年度に27.6%まで低下。その後、補助金の縮小に加えて人件費や材料費の高騰などが重なり、赤字病院が増えた。

≪ 業界ニュース ≫

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆日本の温水洗浄便座が「IEEEマイルストーン」認定 LIXILら3社

・日本の温水洗浄便座が社会や産業の発展に多大な貢献をした歴史的な業績として「IEEEマイルストーン」（IEEE、米国電気電子学会）に認定。温水洗浄便座の先駆けとして個人衛生の向上に寄与し、生活の質向上や衛生技術に変革をも

◆河川の浸水想定見直しへ、土砂対策で国交省が手引改定 都道府県向け

・国土交通省は、土砂や流木で河川がせき止められて起こる洪水の増加を受け、都道府県が浸水想定区域図を策定する際の手引を改定。リスクが高い河川を抽出する目安を提示。想定を見直し住民の早期避難につなげる。改定では、過去の被災事例や、河川の勾配、流域面積といった地形を基に、浸水区域を推定する手法を盛り込んだ。

◆中小企業の借入枠が急拡大、伸び率「コロナ超え」 資材高に備え86兆円

・中東情勢の悪化や円安の定着でエネルギーや資材価格が高止まりするなか、中小企業が手元資金の確保を急いでいる。中小の融資枠の残高は、8月に86兆円となった。伸び率は新型コロナウイルス禍を上回り、過去最大を更新。融資枠は「当座貸し越し」と呼ばれ、あらかじめ決めた金額の範囲内であれば新たな審査を受けず借り入れ返済できる。

≪ 注目商品 ≫

■LIXIL、コンパクトキッチンの新モデル「Tio（ティオ）」



・縦型の2口コンロでコンパクトキッチンの調理スペースを拡大。シンク上のミラー付きキャビネットの設置により、洗面台としても使用できる。また、間口150cm以上から設置できる幅30cmの食洗機が家事の負担を軽減。業界最小クラス「間口92.4cm」からペニンシュラが可能。

■永大産業、造作風洗面に新アイテム



・造作風洗面「アクアージュsai」「アクアージュフロート」に「縦照明タイプミラーキャビネット」を「アクアージュsai」に「ハイバックベッセルボウル」を追加。「縦照明タイプミラーキャビネット」は、ミラー脇の縦照明が顔全体を均一に照らし、ミラーと一体化したスリムなデザインを実現。

■TOOLBOX 10mm単位でサイズ指定が可能なスチールドア



・住宅のリビング向けの「オーダースチールドア」の販売を開始。スチールドアを住宅向けに、作図なしでサイズオーダーできるよう商品化。見付幅25mmの細いスチールフレームが景色を縁取り、大きなガラス面で光や視線を通して空間を緩やかにつなぎ、部屋を広く見せる。